

# 平成30年度 関西広域応援訓練（図上訓練）の実施結果について

平成31年3月2日  
広域防災局

## 1 訓練目的

「関西防災減災プラン」、「0次拠点運用マニュアル」等に定める広域応援・受援活動の手続きを確認する訓練を実施し、課題を抽出すると共に、関西広域連合、構成団体、連携県、関西災害時物資供給協議会、広域ブロック、国等関係機関との連携強化及び対処能力向上を図る。

## 2 訓練想定

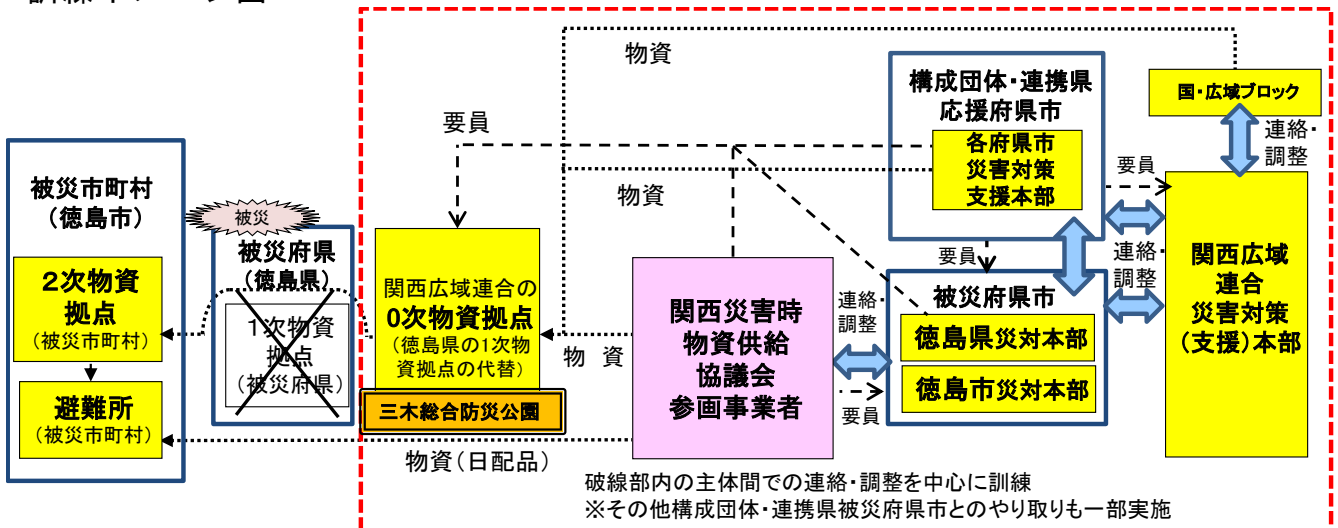
南海トラフ地震が発生し、徳島県を中心に甚大な被害が生じ、1次物資拠点（徳島県の広域物資拠点）が使用不能となったため、基幹的物資拠点（0次物資拠点＝三木総合防災公園）を開設・活用し、県外から徳島市の2次物資拠点や避難所までの物資供給を行う。（発災4日目を想定）

## 3 訓練内容

実施日時：平成11月14日 10時30分～17時30分  
 内容説明 10時30分～12時00分  
 訓練実施 13時00分～17時00分（講評等含む）

	内容	進め方
フェーズ 1	発災	[メイン会場内]
	0次物資拠点開設(要員調整)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実況中継をしながら、全員で手順を確認</li> <li>・ 物資調達・要員調整に必要な情報を伝達 (SNSを用いて帳票交換等)</li> </ul>
	物資の県内要請(徳島市→徳島県) 物資の外部要請準備(外部連絡前まで)	
フェーズ 2	物資、車両の外部要請(外部連絡)	[メイン会場⇄各団体事務所]
フェーズ 3	物資の0次物資拠点への出荷・搬入 (外部)→(0次物資拠点)/(日用品は避難所直送)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実況中継をしながら、全員で手順を確認</li> <li>・ 物資の出荷に必要な情報を伝達 (SNSを用いて帳票交換等)</li> </ul>
	物資の市拠点への出荷 (0次物資拠点)→徳島県(2次拠点)	
	物資の徳島市(2次拠点)への搬入	

## 訓練イメージ図



<訓練活動風景>

○ 図上訓練

(兵庫県災害対策センター)



4 訓練結果

- ・ 異業種間で意見交換ができる有意義な場であり、顔の見える関係に繋がった。
- ・ 物資調整で荷姿等の詳細情報の重要性等を認識できた。
- ・ 試行した SNS (google スプレッドシート等) による情報共有は先駆的だが、セキュリティ面や操作者の習熟度、停電時の代替策などの課題も明らかになった。

<参加機関一覧>

図上訓練参加機関 (53 団体・約 80 人)	
関西広域連合構成団体・連携県等 (15 団体)	
滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、徳島県、京都市、大阪市、堺市、神戸市、福井県、三重県、徳島市	
関西災害時物資供給協議会参画団体・事業者 (33 団体)	
佐川急便(株)、ヤマト運輸(株) (一社)トラック協会 (大阪府、兵庫県、和歌山県、徳島県、鳥取県、滋賀県)、 倉庫協会 (滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、和歌山県)、 生活協同組合連合会 (滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、和歌山県、和歌山市、徳島県) イオンリテール(株)、(株)ファミリーマート、(株)セブン-イレブン・ジャパン、 (株)ローソン、アサヒ飲料(株)、日清食品ホールディングス(株)、大塚製薬(株)、 コカ・コーラウエスト(株)、(株)総合サービス、ダイドードリンコ(株)、(株)ハマネツ、 山崎製パン(株)、NPO 法人コメリ災害対策センター	
広域ブロック (4 団体)	
九州地方知事会、関東九都県市 中国地方知事会、四国知事会	
国機関 (1 団体)	
国土交通省近畿運輸局	